

安彦忠彦著「自己評価—自己教育論を越えて—」図書文化社 1987年12月1日刊を読む

## 自己評価による教育の改革

### 1. 自己評価—「知識」よりも「知恵(英智)」を—

- (1)①「知恵」は「反省」から生まれる。
  - ②自分を見つめなおさない人間に「知恵」は生まれない
  - ③「知恵」は「知識」よりもそれをを用いる人間の「自己」自身への問いの方法に深くかかわっている
- (2)自己評価
  - ①自分を越える目を持つこと
    - \*自己自身から引き離し、「自己を越える目」をもつこと
  - ②自省と自信を促すこと…そのための時間的・精神的余裕(ゆとり)を持つこと…  
ゆとりの充実(ゆとりの時間)
  - ③自分を振り返るという「自己評価」と結び付き子どもに「自信」を与えること
- (3)①教育の全過程(前段階)に「自己教育」のために必要な内容の一部として「自己評価」に関わるものが自覚的に組み入れられなければならない。
  - ②「自己教育論」は、もともと社会教育論分野の考え
  - ③学校教育の外で市民が自分たちの努力で教育すること

### 2. 教科書の「自己評価論」への疑問

- (1)文科省の自己教育論は、社会教育の分野の原理を学校教育の中に取り入れようとするもの  
「学校内部での自己教育論」  
「自己教育力」とは、「主体的に学ぶ意志・態度・能力」
- (2)①学習への意欲(「学習意欲」)
  - ②学習の仕方の習得(「学習の仕方」)
  - ③これからの変化の激しい社会における生き方の問題に関わるもの  
→自己を生涯にわたって教育し続ける意志(「生涯にわたる自己教育への意志」)
- (3)自己教育力の育成
  - ①基礎・基本の徹底
  - ②個性と創造性の伸長
  - ③文化と伝統の尊重
- (4)①「自己教育力」とは、「主体的に変化に対応する能力」と、「主体的な対応能力」
  - ②(重視すべきは)「批判力」「自由」「多夫的価値観」などを基礎とする「個性的で多様な人間
  - ③「遠い目標」「個人の発達」の側面から教育を論じなければならない  
—「自己評価」の独自性や価値への言及を—

### 3. 「自己評価」を中心とした新しい教育の枠組みを

- (1) 「真に力のある教育」を
- (2) 「学校教育」中心の教育観から「生涯教育」中心の教育観への転換を！  
…教育する側から学習する側に主導権を移すべき…
- (3) 「知恵」
  - ① 人類的・世界的・地球的視野を持って教育の目的や内容の確定の際に考慮されねばならない
  - ② 「人生観」「歴史観」その他すべて「倫理的価値観」に関わる部分から生まれる
  - ③ 既成の価値観の再構成、望ましい価値観の追求と意味探究  
\* 人間は自分の行動や活動を振り返るべき

### 4. 教育のパラダイム転換を

- (1) 近代以降現代に至るまでの教育の前提<教育のパラダイム転換>
  - ① 人間性に対する全幅の信頼 → 人間とその本性に対しては「条件付の信頼」しかおけない
  - ② 進歩史観 → 歴史は方向性をもって変化するのみであって、進歩はしない
  - ③ 人間中心の価値観 → 人間の価値観を地球的規模の生物学的視野を含むものとすべき
  - ④ 人間生存への確信 → 人間の生存は自らによってそれを保障しみずからその責任を追う
  - ⑤ 近代科学の絶対視 → 近代的な知識を絶対視せず知識の一部と見なし、むしろ科学の方法を重視する
- (2) 「自然的学習」→「教育」→「自覚的学習」
  - ① 「教育」…(他社からの働きかけ)と「学習」…(自分からの活動)の両方から「人間形成」を考える→生来の自然的・自発的な「学習」が「教育」によって部分的に否定され、そのことによって更に人間的な「自覚的で主体的な『学習』=『自己教育』」として一段高い質のものになる
  - ② 子どもは生まれつき「探究行動」をし、その「探究欲」をもととした「学習」をし「記憶」をする
  - ③ 教育が子どもに与えるべきものは、「何を身に着けさせるべきか」「それをどのように身に着けるべきであるか」「身に着けた程度をどのように知ったらよいか」などであり、あとは「子どもの未来・決定の自由」に任せるべきである。
- (3) そして、子どもがそういうものを身に着けたあとは、子どもの「自覚的・主体的な学習」に任せて、「教育」は消滅すべきものである。なぜなら、すでに子どもは「自己教育力」を身に着けたからである。

#### <コメント>

「教育評価」の前提である「自己評価論」の第一人者安彦先生による「自己評価による教育の革新」論。すべて納得。どう実行するかだけだ。

2021年6月1日(火)林明夫  
2021年6月23日(水)加筆